

令和4年度 第3回学校協議会 議事録

【参会者】

藤本 隆司 様（本協議会委員長）、鉄本 佳代子 様（第二新緑自治会長）
佐々木 信子 様（スポーツ推進委員）、堤 あけみ 様（主任児童委員）、
校長、教頭 計6名出席

【内容】

1. 授業の様子（参観）

- ・2年生、4年生学級閉鎖の為、参観は行わず。

2. 前回（11/24）以降の学校の様子

- ・学校行事等を中心に、校長より簡単に説明。

3. 令和4年度の学校経営計画の総括

- ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果が未返却（1月下旬頃予定）のため、一部総括がまだできていない。
- ・子ども同士の間関係トラブルが増えている為、豊かな心の育成、人権教育に力を入れていきたい。
- ・朝学習、家庭学習では、算数・国語だけでなく、理科も取組んでいきたい。
- ・次年度の計画は大きく変更する予定はないが、今年度、不十分であった項目については、改善できるように引き続き取組みを進める。

4. 質疑・応答

- ・その後の5年生の様子はどうか。

→2学期と比較すれば落ち着いた様子も見られるが、まだ課題は見られる状態である。本来は出来る力のある中間層の児童たちが楽な方に流れる場面も見られ、もったいないと感じている。算数の授業は分割した効果もあり、集中できる時間が増えている。5年生に限らず、児童同士の間関係において、小規模集団で学校生活を過ごすことのデメリットの方が目立っていると感じる。子どもたちの頑張りやよい場面をメールで情報発信している。

- ・「理科」の家庭学習は、内容としてはどのようなものなのか。

→ドリルなどで問題を解くこともあれば、自主学習として自分で課題を見つけて探究するような学習も考えられる。iPad等のICT機器は、非常に便利ではあるが、あくまで道具の一つに過ぎない。現代は「答えがすぐにわかる時代」であるため、今の子どもたちは遠回りして物事に取り組むことが苦手であり、答えがすぐに出ないと諦めてしまう子も多い。求められる学力や能力も時代と共に変化している中で、大切なのはいかに興味関心を持たせるかであり、自ら興味を持った物があれば、自主的に学習する意欲も出ると考える。

- ・現代の家庭は、保護者が大変忙しく生活をしていることもあり、人間関係が希薄になってきていると感じるが、PTAの運営状況はどうか。地域の子どもの会も少なくなっている。友達や家族の事を考える機会、道徳や情緒面の育成の重要性を感じている。

→現在の2年生以下の学年では、加入率が低下してきている状況である。

5. その他

- ・次年度、第1回学校協議会は、令和5年6月頃実施予定。